

伊那地域定住自立圏共生ビジョン(素案)に対する意見等

1 公募による意見等

番号	ページ 又は分野	意見の概要	意見に対する考え方	属性		
				市町村	年齢	性別
1	全体	子どもの貧困対策をしてほしい。伊那公民館で行っている小学生の時間外学習の際に箕輪町の生徒が利用しているが肩身が狭そうにしている。	今後の連携を視野に取組分野の拡大を検討していく。	伊那市		男性
2	公共交通	箕輪町から中央病院行きのバス運行計画があるのなら、伊那養護学校を朝夕経由する便がほしい。	今回の行政区域間を縦断するキールートについては、それぞれの中心地を短時間で移動できるよう公共交通の軸として想定している。そのキールートへの結節をふまえ、各市町村が個別に運行する循環路線等の運行見直しの中で個別に検討していく。	箕輪町		
3	9	相互利用を想定する子育て拠点施設にいなっせの7Fにある「ちびっこ広場」を加えてほしい。現在も伊那市以外からの利用がある。	「ちびっこ広場」は、子育て拠点施設として職員が常駐していないため、今回の拠点から除いている。相互利用可能な民間運営施設については行政として情報発信を行うなど支援をしていく。	伊那市	55	女性
4	9	伊那市の子育て支援センターについては利用料を無料にしてほしい。	市の事業上の判断となる為、共生ビジョンへは掲載しない。共生ビジョンとは別に、担当部門で検討を行う。	伊那市	55	女性
5	11	伊那市から箕輪町の上伊那医療生協病院や芦沢整形外科、また南箕輪村の春日街道沿いの開業医への通院ができるようなルートを教えていただきたい。JRの駅沿いは電車での利用を減らさないようにすることも大切です。生協病院の入院の半分は伊那市民になっています。	今回の行政区域間を縦断するキールートについては、それぞれの中心地を短時間で移動できるよう公共交通の軸として想定している。そのキールートへの結節をふまえ、各市町村が個別に運行する循環路線等の運行見直しの中で個別に検討していく。	伊那市	55	女性
6	全体	平成29年度からの事業実施となっているが、可能なものについてはなるべく早く、平成28年度に実施できるものもあるのではないかと。	すでに検討している事業や取り組んでいる事業もあるため、平成28年度からの取組ができるようにしたい。	伊那市	42	男性
7	全体	定住自立圏で取り組む事業として6つ挙げられているが、連携市町村で取り組む内容としては、もっと多様な分野があるのではないかと。必要な分野について、広範に取り上げてほしい。	今後連携すべき取組として多様な分野の事業を検討していく。	伊那市	42	男性

2 伊那地域共生ビジョン協議会での意見

番号	分野	意見の概要	意見に対する考え方	備考
1	子育て	子育て関連事業の連携の中に職員向け研修があるが、地域のボランティアの底辺を広げていくなど、一般の人の参加ということは考えているのか。	現状は職員を対象とした計画。徐々に工夫をし、取り入れていくことが必要と感じる。一般の方も含めた研修へ拡大することも可能かと思われるため、今後検討していく。	
2	公共交通	循環バスの内回りの実施を行うよりはデマンドタクシーの充実を実施すべき。現在の週3日では病院に通うのは大変である。	内回り便の追加は、キールート路線との接続により、定住自立圏の枠組みにおける公共交通の利便性を高めるために実施するもの。 伊那市内における公共交通のサービスレベル(デマンドタクシー含む)については、共生ビジョンとは別に、市担当課で検討を行う。	
3	公共交通	キールート路線は利用者の交通手段を一人でも多く確保していくことを目的にルート、バス停を決めるべきではないか。		
4	公共交通	キールート路線は利用者の目的地、目的時間を把握したうえで実施していけば、圏域の皆様の利便性が向上するのではないかと。	ルート及び停留所の設置場所等については、今回のパブリックコメント等の意見を踏まえて、需要及び効率性を十分に考慮した案を連携自治体において作成する。また、その案に対して、広く意見を聞く機会を設けたい。	
5	公共交通	キールート路線は市民、町民、村民の皆さんの要望を整理して路線等を決めればよいと思う。		
6	人材育成	合同職員研修は職員の資質向上を目的としているが、研修の講師は外部の方に依頼するだけでなく、専門的な知識を持つ市民の方にも依頼したかどうか。	各市町村の意向を踏まえた研修を立案する中で、必要に応じて依頼したい。	
7	公共交通	「結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野」での事業費はどのような計算なのか。	最終的なキールート(縦断路線)の案は決定していないが、想定されるルートを運行した場合の運行費に加えて、バスの調達費を5年間で案分をして負担をするという考え方。概算ではあるが主には運行費とバスの調達費について想定される金額を載せている。	
8	公共交通	縦断路線バスの運行に関し、公共施設に乗り継ぎせずに行けるだけでなく、3市町村それぞれで運行しているバスやJR飯田線と連絡がうまくいくように3市町村で連携をとっていただきたい。	キールートと各市町村が運行するバスについては、可能な限り接続するよう調整を行い、相乗効果による相互の路線の活性化を図る。	
9	公共交通	夜にお酒を飲んだ人が帰る時間にバスがなくなってしまう。お酒を飲むことは地域にお金が落ちる、回るということになるので、夜間のバス運行を試験的にやってみてはどうか。	現時点では、キールートのダイヤは主に学生と高齢者の移動に対応できるように検討している。 今後、ルート案について広く意見を聞く機会を設ける予定であるため、その際に併せてダイヤ案についても意見を求め、得られた意見を基に夜間運行等についても検討したい。	